

阿賀野川河川事務所では、阿賀野川の自然再生の取り組みを進めています。その一環として、この度、焼山地区において、ワンド（池のようなもの）の再生に着手することとなりました。

そのため、地域の皆さまの川との関わりやこれからの川づくりに対するご意見等を踏まえながら、ワンド再生を進めていくため、「焼山地区ワンド再生懇談会」を設けました。8月6日に開催した第1回懇談会には、13名の地域の方々にご参加いただき、これからのワンド再生への貴重なご意見をいただきました。

■第1回焼山地区ワンド再生懇談会の開催概要

テーマ	焼山地区ワンド再生への思いを描く
開催日時	平成 25 年 8 月 6 日（火）19：00～21：15
場所	阿賀野川きょうがせ防災ステーション
参加者	13名（地域の皆様）
事務局等	11名（事務局：阿賀野川河川事務所・コンサルタント、関係者：新潟市・阿賀野市）



焼山地区位置図

1. かつての阿賀野川と人の関わりのおぼろげな思い出の掘り起こし

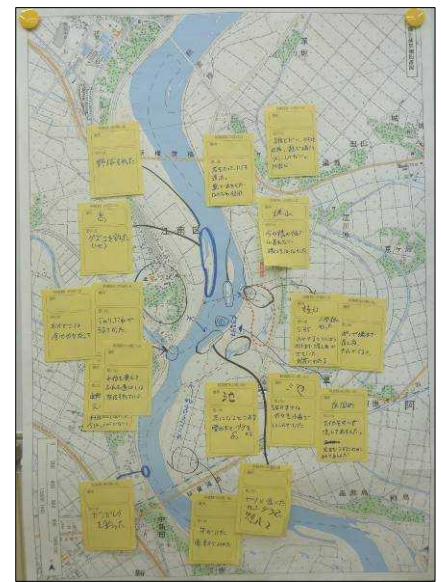
参加者の方に持ってきていただいた阿賀野川の昔の写真をしながら解説を聞いたり、地図の上に阿賀野川での思い出を書き込んだりしながら、かつての阿賀野川と人の関わりについて思い出出す作業を行いました。



昔の写真の解説



2班に分かれて作業



思い出を書き込んだ地図

■阿賀野川の思い出（一部抜粋）

- 昔はワンドの湧き水がもっと湧いていた。
- 焼山堤外地で水田に水をいれるための用水機場があった。
- イトヨ釣りをした。竿を5本いれて5匹釣れた。
- 河岸から中洲までロープで囲ってあって、プールのようにして利用していた。
- 沈んでいる流木をとって燃料にした。（川木（かわぎ）とり）
- 学校にプールがない頃、夏休みは阿賀野川で水泳をした。
- 河原で野球をやっていた。
- ハゼ（地方名：グズコ）を釣った。
- 子供たちがエビを採って、料理して食べていた。
- カワガレイを釣ったことがある。
- ヤツメウナギをカンテラ（カーバイト）で照らして鉤（かぎ）で引っかけて採った。
- 冬になると池が凍る。雪の下の寒ブナを釣った。
- 昭和40年代まではカヤを小舟で運び出していた。池が阿賀野川と繋がっていた。
- 昭和35年頃は対岸の小学校へ渡し船で通っていた。
- 堤防でスキー。昔は竹を曲げてスキーを自分で作った。

2. これからの阿賀野川と人の関わり方のアイデア出し

昔の川と人の関わり方が今よりも密接だった頃の阿賀野川の思い出をふまえて、これからの阿賀野川と人の関わり方がこんな風になればいいな、というアイデアを出していただきました。



1班のグループ作業風景



2班のグループ作業風景



中間発表

■これからの関わり方のアイデア（一部抜粋）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 小さな子どもに遊ばせたい。危なくないように。 • 花火。昔、横雲橋で3年くらいやっていた。 • ワンドを一周するウォーキングルートがあると、工業団地の方などがウォーキングとして利用してくれる。 • イトヨやヤツメなどの釣り。イサザ、ゴリを獲る。 • 大人が見て安全に遊べるように。 • 砂礫河原で遊ぶ。 • 魚（ハゼ、地方名：グズコ）釣り。 | <ul style="list-style-type: none"> • 水がきれいであれば子供たちも利用する。 • 床固では遊んだり釣りができる。ただし水位を把握する必要がある。 • 堤防でスキーやそり遊び。 • 生きものの調査を実施する。 • 夏に利用できるように草を刈る必要がある。草で遊んでいる子供が見えなくなる。 • 子供たちが安全に遊べるように管理する。 |
|--|---|

3. 焼山地区ワンド再生への意見

阿賀野川でこんなことができたらいいな、というアイデアから、イメージを膨らませて、焼山地区ワンド再生への様々なご意見をいただきました。



意見交換の風景



1班の意見をまとめた平面図



2班の意見をまとめた平面図

■焼山地区ワンド再生への意見（一部抜粋）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 全周あるいは半周のウォーキングルートがあると良い。 • 木橋、渡し石、中洲など、ワンドの対岸に渡れると良い。 • 近隣以外の方が車を停めて見てみようと思えるような場にする。平場には、菜の花や彼岸花などが目立つように。 • エリアが広いので、ブロック別に分けて考える。入口は人が利用するエリア、遠い方は自然豊かなエリアなど。 • 河川側は自然を残して野鳥が利用する空間に。 • 駐車場が必要。歩いてアクセスする人は殆どいない。保育園児が利用するとすればバスで来る。 | <ul style="list-style-type: none"> • 法面を利用したソリ遊びなど、保育園児が遊べるようにすると良い。 • 木は切った方がよい。クルミの木など、良い木を少しだけ残す。 • 入口の水面の幅は広い方がよい。斜面は緩く傾斜させる。（流木が出て行くように。イトヨ釣りができるように。） • 草が生える面積を減らすために水面を広げる。 • 歩道をつかって、人が歩くようになれば草が少ない場所ができる。 |
|--|---|

【今後の予定】 次回の第2回懇談会では、参加者のみなさまからいただいたご意見をもとに事務局が作成した焼山地区ワンド再生のイメージをみなさまにご確認いただきます。また、今後のワンドの利活用や維持管理などについてもご意見をいただきます。その後、ワンド再生の工事に着手します。なお、第2回懇談会は10月の開催を予定しています。